

令和元年度 自己評価結果公表シート

作成 みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

仏教の教えを基に「つよく・あかるく・なかよく」をモットーに子どもの主体性を育む。
すべてのいのちを尊び、大切にす。
一人ひとりが育つ和合の保育。
・一人ひとりの子どもを大切にす保育
・保護者とともにある保育
・全職員が協同する幼稚園
・地域に開かれた幼稚園

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

本年10月の公開保育に向けて、当園の保育「一人ひとりの子どもを大切にす」を全職員で確認し、実践する。公開保育事前の研修並びに振り返りの研修を行ない、質の向上につなげる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・自然を利用し実際に作物が実るまでの成長を見る・触れる環境を作る。	・学年ごとに裏庭、プランターを利用して、野菜を栽培。 ・植え、水やり等の経験を重ね、作物の成長を見ながら収穫に興味を持ち、収穫した。また、収穫した野菜を使い料理を作った。
・配慮が必要な子ども一人ひとりを理解しその持てる力を高め必要な支援を行う為支援機関や保護者と連携し全教職員の適切な指導・援助の向上を図る。	・支援機関との連携を図り、互いの機関へ訪問し合い、個人における共通の理解を確認しながら、必要な取組みを支援する。 ・子どもの発達や子育てに対する保護者の不安感に寄り添い、連絡帳の交換や懇談の機会を多く持ち、理解を深めるようにした。
・子ども一人ひとりの個性の把握と個性に応じた適切な指導・援助の充実 ・わらべうたの充実	・ナノティー・グループライン等で、情報を共有した。 ・わらべうたの園内研修を行い、職員の中でもわらべうたに親しみを持つことで、日常的にわらべうたが出てくるようになった。
・クラス通信や園通信等で幼稚園の様子や出来事を見て頂き、保護者や地域の方々と連携を深める。	・クラス通信や園通信で、子どもの園での様子をお知らせすることにより、安心感を持つ保護者の姿が見られる。
・保護者とのコミュニケーションをはかり、本園の保育を保護者に伝える。	・引き続き保護者との懇談の機会を多く持つように心がけ、意見や質問等に対して園の考えを説明した。 ・休園期間が長期化したので、各担任より電話で園児の様子を聞いたり、現況を把握する等、コミュニケーションをはかった。 ・休園期間中、YouTubeで「絵本の読み聞かせ」等を配信した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今後取り組むべき課題について、全教職員が共通理解し、それぞれ自己評価し、取組状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。
連携施設である保育園(さらな保育園)との連携を深めて、情報の共有を行っている。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
特別支援教育	幼児に対応した個別の指導計画の作成が園独自の方式を取り入れていたため、各関係機関との連携を今まで以上に図れるように努める。
職員間のチームワークの意識 新人職員への伝え方	新年度を迎えるにあたり、クラスの雰囲気作りと新人職員への園の生活の流れややり方を伝え、職員関係を築いていく。
保護者に対する情報の提供	幼児の幼稚園での普段の様子を保護者にもっと分かってもらう為、ホームページ掲示板等をさらに活用したい。 一斉メールの活用と、YouTubeの活用を更に充実させる。
安全・安心	新型コロナウイルス感染防止の観点から、消毒・除菌等に努めたい。 北海道スタイルの取組みを実践する。

6. 学校関係者の評価

委員からは良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれているとの意見を頂いた。
また、新型コロナウイルス感染防止の観点から、引き続き消毒・除菌等に努めると共に、合わせて、今後も引き続き積極的に取り組むことを望むとの意見を頂いた。